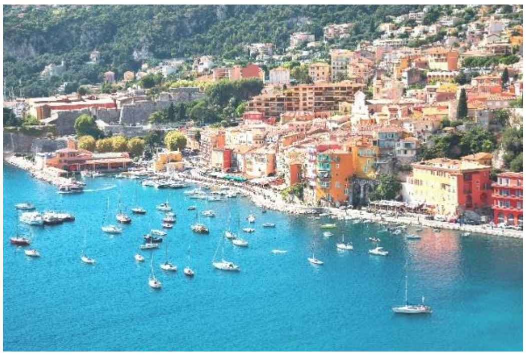
Institut français du Japon・Cours à distance

LETTRE DE L'INSTITUT

n°302 le 22 juillet 2022 Eté 2022 Envoi n°1

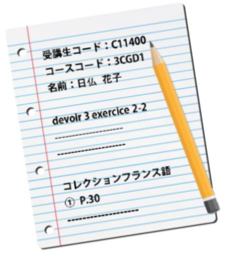


Bonjour à tous！受講生の皆さまこんにちは！
暑中お見舞い申し上げます。
毎回、お届けするこの Lettre de l'Institut では、通信事務局からのお知らせのほかフランス語学習に関する様々な情報をご案内いたします！
今回は今学期初めてのレターになりますので、通信講座のサービスとよくあるお問い合わせを中心にご案内します。通信コースを十分にご活用いただくために「受講生ガイド」とあわせてご覧ください！
今学期もどうぞよろしくお願いします！

■ 通信講座の学習サポートを活用しましょう！

▶1. 質問サポート

答案の添削・模範解答を熟読しても理解できない時は、質問サポートを利用して先生に質問しましょう。質問内容は受講コースの課題に関する内容に限ります。詳しくは受講生ガイドの６ページをご覧ください。



● **質問の仕方：**
質問用紙またはメールの件名には「受講コースコード-課題番号　お名前　受講生コード」を明記してください。例：3CGD1-03　NICHIFUTSU Hanako　C11400

● **質問の送り先**
☑ メール：soutien@institutfrancais.jp　一番早く解答が返却されます！
☑ 郵便：答案とは別の用紙(A4 など)に質問事項をまとめて答案と一緒に郵送。質問を答案に直接記入したり、ポストイットに書かれた質問にはお答えできません。

▶2. 会話サポート

会話サポートは、スカイプで 10 分間、教師と一対一でフランス語を話せるサービスです。ご予約は【学習用プラットフォーム】より承ります。ご予約方法やスケジュールについては、教材と一緒にお送りした「会話サポートスケジュール表」をご覧ください。

おすすめの活用法
●入門～初級：課題の文章やコレクションフランス語の会話文を読んで発音矯正やロールプレイをしてみましょう。
●中級～上級：日常会話、疑問点を質問、新聞記事を題材に教師と意見交換や 3 分間スピーチなどをしてみましょう。

■ よくあるお問い合わせ

Q：2講座目の受講を検討しているのですが、学期の途中からでもお申し込みは可能ですか？
A：夏学期のお申し込みは8月2日まで受け付けていますので、夏休みに集中的に学習したい方にはおすすめです。どうしようか迷われている方は、当校のHP「フランス語 通信講座一覧」のページにある各講座の課題見本で内容と分量を参考にお決めいただくか、事務局までご相談ください。
https://www.institutfrancais.jp/tokyo/adistance/cad/choix/
Q：オンラインブティック、学習用プラットフォームのパスワードを忘れてしまったので、ログインができません。
A：オンラインブティックと学習用プラットフォームのパスワードは同じです。パスワードは個人情報となりますため、事務局では一切保存していません。パスワードをお忘れの方は、ログイン画面よりパスワードの再設定をお願いします。

■ 夏季休業のお知らせ

通信事務局の休業 ：8月6日(土)～8月22日(月)
アンスティチュ・フランセ東京 受付の休業 ：8月8日(月)～8月22日(月)
この間のお問合わせは8月23日(火)以降に対応させていただきます。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

Cet été, dans *Histoires de mots*, nous republions quelques chroniques précédentes. Bonne été, bonne lecture !

夏学期の「Histoires de mots」では、過去に掲載したコラムを再掲載します。
では、楽しい夏と読書をお楽しみください！

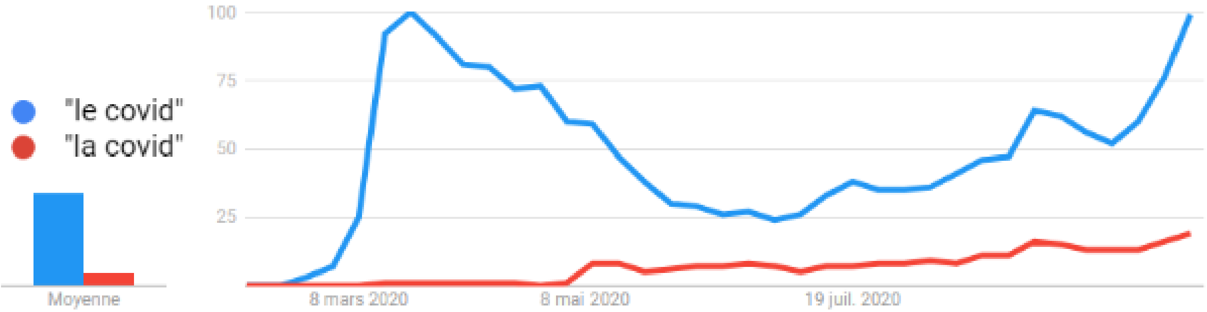
Histoires de mots
Covid

(6 novembre 2020)

Rassurez-vous, on ne parlera pas de maladie ici, mais simplement de mots. Comment décide-t-on si un mot est masculin ou féminin ? Le cas de *Covid-19* permet de mieux le comprendre.

Dans les journaux, à la télévision ou sur les radios francophones, vous avez sans doute rencontré également *le covid* et *la covid*. Mais lequel est correct ?! Eh bien, s'agissant d'un néologisme, la question n'est tout simplement pas encore tranchée. *Covid* est un acronyme anglais pour ***co**rona **vi**rus **d**isease*, « maladie du coronavirus », annoncé par l'OMS le 11 février 2020. Le mot n'ayant pas de genre en anglais, les locuteurs français ont dû **faire un choix**.

En français, le **masculin** est le genre par défaut : si on n'a pas de raison de mettre le mot au féminin, c'est le masculin qui prime. Une recherche sur le site *Google Trends* montre ainsi que c'est le masculin qui a été choisi spontanément en France :
Mais on remarque aussi que le **féminin** émerge en



mai 2020 et progresse ensuite. Cet usage démarre au Canada, où une conseillère linguistique de Radio-Canada le recommande dès mars, arguant que l'anglais *disease* se traduit par le mot féminin *maladie*. Cette interprétation est reprise en France le 7 mai sur le site de l'**Académie française**, qui déclare le masculin comme « fautif ». Intimidés, nombre de journalistes se plient à cette injonction.

À titre personnel, j'ai une réserve concernant cette interprétation : en effet, le mot anglais *disease* est issu du mot français ***désaise*** ; ce mot, bien que rare, figure dans le dictionnaire *Littré* et est encore attesté en 1901. C'est donc bien ce jumeau de *disease* qui devrait servir de référence. Or, *désaise* est masculin !

Quoi qu'il en soit, en matière de langue, c'est l'usage qui prime, et le temps dira quel genre s'impose. En attendant, *le* ou *la*, vous êtes libre de choisir !

ご安心ください。これから話すのは、直接病気に関してではなく、言葉の問題です。ある単語が男性形か女性形かは、どのように決まっているのでしょうか。「Covid-19」のケースを例に取るとよくわかります。

フランスのテレビやラジオのニュースで、「le covid」と「la covid」、どちらの場合もあるのに気づいた人がいるかもしれません。一体どちらが正しいのでしょう？新語であることから、実際まだはっきりしていません。「covid」とは、2020 年 2 月 11 日に WHO が発表した英語の「corona virus disease」（コロナウイルスの病気）の頭辞語です。英語には語の性がないため、フランス語話者はどちらかを選ばなければなりませんでした。

フランス語では、まず男性形が標準です。あえて女性形にする理由がなければ、男性形が優位に立ちます。「Google Trends」で検索すると、フランスでは男性形が自然と多く選ばれたのがわかります。
しかし 2020 年 5 月には、女性形が出現し、その後使用頻度が増えていることが確認できます。きっかけはカナダ。すでに 3 月から、カナダ放送協会の女性言語アドバイザーが、女性形の使用を推進しました。その理由は、英語の「disease」は、フランス語では女性形の「maladie」に翻訳されるというものです。この解釈は 5 月 7 日にフランスにも導入され、「アカデミー・フランセーズ」がサイト上で、男性形は「誤り」であると発表するに至りました。恐れをなして、多くのメディア関係者がこの用命に従っています。

個人的には、この解釈について全面的に賛成できません。英語の「disease」はフランス語の「désaise」に由来します。この単語は珍しい単語ですが、「リトレ辞典」にも記載され、この語の用例は 1901 年に残っていました。したがって、参照されるべきは、この対の「disease」です。ところが、「désaise」は男性名詞なのです！

いずれにせよ、言語に関しては、性を決めるのは実用性です。どちらの性になるか、時が経てばわかるでしょう。それまでは、「le」を使うか「la」使うかは、あなたの自由です！

- https://www.franceculture.fr/sciences-du-langage/doit-dire-le-ou-la-covid-19
- https://www.cnrtl.fr/definition/désaise